

科目名		担当教員	
科目属性		単位数	2単位（面接0.5単位）
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>教育分野における「課題」とは何でしょう。その「解決」のためにどうすればいいでしょうか。この答えは「唯一無二」ではないはずです。ただ「教育」なる営みは現実世界で生起しているので、閉じた世界（書籍や一つの研究分野）のみで「解決」できることは極めて少ないです。教育現場でのフィールドワークや同学、専門家等との対話により、「課題」を発掘し、「証明」策を画すべきでしょう。</p> <p>本講では、学習者の経験、テキスト学修とスクーリング、事後学修により、質的情報・データを用いた研究方法を学習し、以下の到達目標達成を目指します。</p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の3点です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「課題（証明したい命題）」とは何かを思索し、「課題」を設定する</li> <li>2. 課題を体系的に整理することで、課題（証明したい命題）の所在を特定する。</li> <li>3. 研究計画が立案できる論理構造（ロジカフレームワーク）を構築する。</li> </ol>			
<p><b>【授業計画】</b></p> <p>授業はレポート課題提出、スクーリング、事後学習、科目修得試験（レポート方式）で構成します。</p> <p>全15回の授業計画については、下記の通りです。ただし、本学は通信制ですので、全てを対面（スクーリング）で行うわけではありません。スクーリングは、論文に関わる必要な課題の設定、課題の所在の特定を発表し、多分野の複数教員によって講義、対話、グループワークなどの多様な方法で、調査研究計画を立案するために論理構成（ロジカルフレームワーク）完成に向かって総合的に実施します。ですので、テキスト、参考文献を読み、スクーリング事前学習、事後学習を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 演繹的証明の仕方を学習する。</li> <li>(2) 帰納的証明の仕方を学習する。</li> <li>(3) 弁証法的証明の仕方を学習する。</li> <li>(4) 明らかにしたいこと、すなわち修論で扱いたい課題／問題をイメージする。</li> <li>(5) その課題／問題に関係する分野で、どのような研究が行われ、どのような結論が導かれているか調査する。</li> <li>(6) 課題／問題に関係する既知の報告、結論を整理する。</li> <li>(7) 整理した既知の報告、結論を元に、新規性を考慮して証明したい課題（問題定義）を設定する。</li> <li>(8) 修論で証明したい課題（問題定義）の所在がどこの、誰に、どのように存在する課題／問題なのか明確にする。</li> <li>(9) 設定した課題（問題定義）について、学習した証明の仕方を元に考え、要素要因を書き出す。</li> <li>(10) 絞り込んだ課題（問題定義）を証明できる要素要因を論理的に組み立てる。</li> <li>(11) 証明する要素、要因を対話、ディスカッションによって十分であるかどうかを検証する。</li> <li>(12) 課題を証明する論理構成を策定する（課題を証明する論理構造：ロジカルフレームワークを作成する）</li> <li>(13) 証明しようとしている論理構成、その要素要因との整合性について批判的思考から評価、考察する。</li> <li>(14) 取得可能な情報・データから論理構成の各要素要因の結果を予測し、考察する。</li> <li>(15) 研究計画を立案できる論理構成表（ロジカルフレーム）を完成する。</li> </ol>			

## 試験

### 【評価方法】

評価は、レポート 20%、スクーリング 30%、科目修得試験 50%で行います。科目修得の総合評価の観点は以下です。

- (1) 文献に対してクリティカルシンキング（批判的思考）な見方ができているかどうか。
- (2) 課題／問題の所在が特定できているかどうか。
- (3) 論理構成（ロジカルフレームワーク）が納得できる構造になっているかどうか

スクーリング評価は、スクーリング時の積極的な発言と発表内容になります。

### 【教科書】

- ① 山崎 康司著、(2011)、入門 考える技術・書く技術、ダイヤモンド社、ISBN-10: 4478014582、ISBN-13: 978-4478014585
- ② 生方正也著、問題解決のためのロジカルシンキング、クロスメディア・パブリッシング(インプレス) ISBN-10: 4295400351、ISBN-13: 978-4295400356

### 【参考図書】

- 照屋華子（著）、岡田恵子（著）、ロジカルシンキング、東洋経済新報社、ISBN-10: 9784492531129、ISBN-13:978-4492531129
- 川喜田 二郎（著）、続・発想法—KJ法の展開と応用、中公新書 210、ISBN-10: 4121002105、ISBN-13: 978-4121002105
- ウンベルト エーコ（著）、谷口 勇（翻訳）（1991）、論文作法—調査・研究・執筆の技術と手順—（教養諸学シリーズ）、而立書房、 ISBN-10: 4880591459 ISBN-13:978-4880591452